

中小企業タイムズ

4月号

2012年
第665/240号
(毎月1日発行)

今月の見どころ

- 1面 第17回組合まつりを開催
4面 組合活動あれこれ
5面 3年間の地場産事業を終えて
7面 国際協同組合年について

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

3月の出来事

●時事

- 1日 LCCピーチ運航開始
11日 震災から1年、全国、世界各地で追悼式

●山梨県中央会ニュース

- 4日 中小企業組合まつり・介護健康フェア
28日 第10回正副会長会議、第3回理事会

4月の予定

- 27日 第1回正副会長会議、監査会

第17回 中小企業組合まつり 「居安思危」のテーマのもと盛大に開催



あいさつする内藤会長

長は、開会のあいさつの中で「昨年の組合まつりを東日本大震災で、やむなく中止した経緯を

中央会では、3月4日、甲府市大津町の「アイメッセ山梨」において、「第17回中小企業組合まつり」を開催した。組合まつりは、「介護健康フェア」と同時開催し、出展者数も152団体にのびた。

開会式には、山梨県知事代理をはじめ国会議員、市町村長、県会議員、あるいは関連団体の代表など多くの来賓や関係者が参加した。内藤会

述べるとともに、今年のテーマを「居安思危」とし、非常時のネットワークは、組合の活動の原点そのものであり、中小企業が組合を中心に頑張っている姿をこの組合まつりで示していきたい。」と挨拶をした。

今年の組合まつりの特徴としては、県内外からご当地のB級グルメとして14店が出展し、地域の魅力を再発信した「ご当地グルメフェア」を開催した。また、農業と中小企業をつなぐ6次産業化や農産物直売などの関連団体10店が出展し、商品の展示、試食、販売等を行う「農産物直売所マーケット」を開催した。更に、バスケットボール女子日本リーグ(JBL)に所属する山梨の地元チーム「山梨クイーンビーズ」の選手が、来場者を対象に「フリースロー大会」を開催するとともに、チームのマスコットキャラクターの「クイーンビー」もまったりを盛り上げた。



屋内会場の風景

昨年引き続き、山梨県の産業基盤を支えている「地場産業」を広く県民に紹介するため、ジュエリー、織物、ワイン及び菓子に関する新商品の展示も行った。

その他屋内では、協同組合等により太陽光発電の展示、あるいはパン作り体験や整体治療体験などのコーナーが設置された。また、中小企業の専門的な相談コーナー等も設けられ中小企業組合を県民にアピールした。

屋外では、山梨県自動車整備商工組合の自動車点検整備の推進PRやエアバックの爆発実験が行われた。また、山梨県味噌醤油工業組合による味噌作りや、山梨

県漬物協同組合によるキムチ作りの体験教室が行われ、屋外でも中小企業組合を県民にアピールしていた。その他、働く自動車の展示や高所作業車、自衛隊の装甲車などの体験乗車が行われ長蛇の列ができていた。

屋内ステージでは、山宮保育園の園児の太鼓演奏、甲斐市文化協会のフラダンス、リズムオブラフのミットパーカッションが行われ、また、屋外ステージでは、山梨の産業をクイズにした「山梨の産業を知ろう! 開運〇×クイズ&ジャンケン大会」が小学6年生以下を対象に開催され勝者に豪華景品が渡された。

中小企業組合まつりは、天候が心配されたが約1万7千人のご来場をえて盛会に開催された。



屋外ご当地グルメフェア



ステージイベント

事業年度終了後の事務手続きの流れ

3月を事業年度末にしている組合は、決算関係書類や事業報告書の作成及び通常総会終了後の事務処理などが発生するため、組合事務局にとって多忙な時期を迎えます。

遅滞なく事務手続きが完了できるよう、下図の事務手続きの流れを参考に適切な事務処理を行なってください。

事業年度終了後の事務手続きの流れ

「決算関係書類」「事業報告書」の作成

財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案（又は損失処理案）及び事業報告書の作成。



監事による監査

「決算関係書類」「事業報告書」（業務監査を行う場合）について監事の監査を受ける。

監事は監査報告書を作成し、「決算関係書類等」の全部を受領した日から4週間を経過した日に理事に通知。但し、監事が自主的に4週間を下回る期間で監査を行い、理事に監査報告を通知することは可能。



理事会招集通知の発出

理事長は理事会の会日の1週間前（定款で短縮可）までに理事会招集通知を各理事に発出（監事が業務監査権限を持つ場合は監事を含む）。理事（監事が業務監査権限を持つ場合は監事を含む）全員の同意があれば招集手続きの省略可。



理事会の開催

理事会を開催し通常総会の開催日時、場所、議案の議決をするとともに、監事の監査を受けた「決算関係書類」「事業報告書」（業務監査をした場合）の承認を受ける。通常総会の会日の2週間前までに「決算関係書類」「事業報告書」を主たる組合事務局に、写しを従たる事務局に備え置く（5年間）。



総会招集通知の発出

理事長が総会招集通知を通常総会会日の10日前までに（定款で短縮可）組合員に到達するよう発出。議案の他、会議の日時、場所等会議の目的事項を示すとともに、理事会の承認を受けた「決算関係書類」「事業報告書」及び「監査報告

書」を添付。組合員全員の同意があれば招集手続きの省略可（この場合、招集通知発出の際に必要な添付書類も不要）。



通常総会の開催 → 理事会の開催 ※役員改選（代表理事、副理事長、専務理事等）を行った場合。



通常総会議事録、（役員改選を行った場合）役員変更届出書・理事会議事録の作成

※変更登記が発生していれば…

登記事項〈名称、主たる事務所、事業、公告の方法、出資1口の金額、出資払込の方法、地区〉に変更が生じた場合は、所管行政庁から定款変更認可後2週間以内に変更登記。

代表理事の変更は、就任日から2週間以内に変更登記。

注：同一人物が留任しても変更登記が必要。

※定款変更を行っていれば…

所管行政庁に①定款変更理由書 ②定款変更条文新旧対照表 ③総会議事録の謄本を提出。



通常総会終了後、2週間以内に決算関係書類・事業報告書・総会議事録を所管行政庁へ提出

○所管行政庁への提出書類

①決算関係書類提出書

②決算関係書類（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案又は損失処理案）

③事業報告書 ④総会議事録の謄本

注：所管行政庁への決算関係書類の提出を忘れずをお願いします。職権解散の対象となります。



事業年度終了後、原則2ヶ月以内に税務申告書類の提出・納税

・法人税…税務署

・法人県民税＋事業税…県税事務所

・法人市（町村）民税…市町村税務課

「農ガール」が農業を変える

ibuki

息吹

トレンドや消費の主役は女性である。従来は、男性が主役であった分野に、マンガ、ドラマ、映画などの影響を受けた女性が進出しており、「歴女」、「鉄女」、「釣女（釣りガール）」、「山ガール」、「囲碁ガール」などという言葉が聞かれるようになった。

そして、今注目されているのは、「農ガール」である。「本気のナナシシ」たちが日本の農業を元気にする。」というキャッチコピーの農業生産法人国立ファーム株式会社山形ガールズ農場という団体がある。農家の生まれではない若い女の子たちが職業として農業を選び始めている。農業は、生産だけではない。販売、加工、飲食店など、農業の周りに広がる農業ビジネスを女性の視点から、魅力あるものへ変えていくとしている。生産から販売まで農業の川上から川下まで、ビジネスを知った農業人として成長することが団体の使命であるという。まさに6次産業化であり、女性の視点で始める農業改革である。

また、この「農ガール」ブームに乗った「種まく旅人」の茶々」という映画が公開された。デザイナーの仕事のリストラされ、故郷の大分で茶畑の有機栽培に取り組み農ガールになるヒロインを田中麗奈が演じた。福島第1原発事故による放射能汚染問題や環太平洋経済連携協定（TPP）など、農家に逆風が吹く社会状況であるが、「農業の明るい未来の追い風になりたい」という思いが作品に込められている。

山梨県にも6次産業化の芽が膨らみつつある。そして、その一端を女性が担っている。このブームを一過性にとどめ、サポートを行うことが行政や我々支援団体の使命である。現地に足を運んで、夢や想いをよく聞き、日本の農業の新たな息吹を応援していきたい。

山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県の2月の景況は、全業種のDI値が、売上高-28(前年同月比+2)、収益状況-34(前年同月比±0)、景況感-36(前年同月比-6)となった。業種別のDI値では製造業で、売上高-25(前年同月比+15)、収益状況は-40(前年同月比±0)、景況感-45(前年同月比-10)。非製造業で、売上高-30(前年同月-7)、収益状況-30(前年同月比±0)、景況感-30(前年同月比-3)となっている。

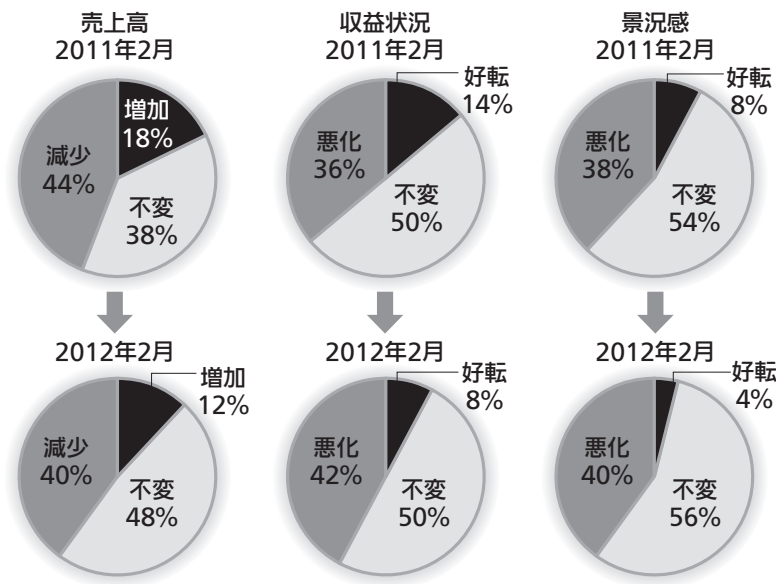
前月比の全体では、売上高のDI値が4ポイントの改善となったが、収益状況と景況感とはともに4ポイントの悪化となっている。

業種別では、製造業の売上高でDI値が15ポイントの改善が見られ、収益状況は横這い、景況感10ポイントの悪化となった。非製造業では、全ての項目で3ポイントの悪化となっている。

情報連絡員による県内各業界の景況は、2月も全体的に、低調さが目立つ報告となっているが、製造業の一部の業種では、2月の売上が比較的好調であったとする報告や、緩やかであるが景況が回復傾向に向かっているなど、明るい報告も見受けられた。

また、製造業、非製造業ともに、依然として、円高の影響から資材、燃料等が値上がりし、苦戦を強いられる業種の報告も多く、今後の見通しについても、厳しい状況のまま推移していくと予測する報告が目立っている。

データから見た業界の動き(平成24年2月分)



業界の動き

平成24年
2月分



トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

業界から一言

製造業

●食料品(水産物加工)／年明け以降消費マインドが低下している感が強い。

●食料品(洋菓子製造)／消費低迷、円高による輸出減。バレンタイン関連商品も低調。

●繊維・同製品(織物)／2月も寒さが続き、春物の動きは非常に悪かった。東京ビックサイトでの「ギフトショー春2012」は、前年より入場者数も増え商談件数も多かった。

●木材・木製品製造／木材の販売は去年よりは良い

が、プレカット加工量は大幅に減少。今後も低調のまま進んでいくことが予測される。

●紙・紙加工品／昨年

の3・11以降、景気は落ち込んだまま回復の兆しは見えない。重油の値上がりで4月以降の電気料金の値上げ発表は今後業界にとって痛手となる。

●窯業・土石(砂利)／今月

は、売上が大幅に減少したが、中部横断自動車道やリニア工事、他に道路や橋梁取付工事など付帯工事もあり、見通しは明るい。

●窯業・土石(生コン)／全

体的には、リニア延伸工事に加え大型箱物工事、中部横断道により出荷量は増加。リニア以外の需要は、官需が全体の8割強を占め、今後は公共工事の行方にかかると見られる。

●鉄鋼・金属／自動車関連は、上昇傾向にあり、半導

体関連も徐々に回復傾向にある。

●電気機器／工業団地全体でも仕入量が著しく低い。

●その他(宝飾品)／展示会の売上げが昨年対比で3割減で推移。中国の景気に陰りが出ている。

●その他(宝飾品)／2月の売上は好調であったが、3月は厳しくなると予想される。

非製造業

●卸売(ジュエリー)／1月

に開催した「国際宝飾展」での売上は、前年より減少。2月の「香港フェア」も中国経済の悪化により中国人バイヤーの仕入が減少。

●小売(SC)／2月は寒い

日が続く、来街客数は少なかつた。

●小売(青果)／入荷状況は順調だが、価格が高く卸・小売業者ともに苦戦。ま

た、大型店の安売り合戦の影響もあり、県内スーパーや小売店は非常に厳しい状況。

●小売(電機製品)／テレビ

台数が増え、大幅に落ち込んでいたが、売価も更に下落している。

●小売(石油)／ガソリン、軽油、灯油の元売各社の値上げにより県内SSでも5円程度の値上げを行った。イラン情勢の悪化により中東原油が高騰しているため今後も小売価格は上昇する見込み。

●宿泊業／例年になく寒い冬となり観光、ビジネスともに集客は減少。3月下旬から5月末まで中国からの観光客の予約が若干入り始めた。

●美容業／デフレ傾向の中、低料金店が売上を伸ばしている。消費者は格安な店に流れる傾向。

●警備業／年度末で公共事

業の駆け込み発注が多く、受託量は増大。単発的であるが土木事業を中心に業務量は増大傾向。

●建設業(型枠)／工事単価はまだ安い、公共・民間工事とも発注量は増加傾向。

●設備工事(管設備)／公共工事も減少しており厳しい状況が続いている。

●運輸(タクシー)／燃料の高騰により、ますます経営が苦しくなっている。

●運輸(バス)／過去に前例がないような経営を圧迫する材料が多く、試験の時期を迎えている。

●運輸(トラック)／まだまだ円高の状況にあり輸出全体が冷え込んでいる。燃料価格の値上がりににより、経営が厳しくなっている。

●警備業／年度末で公共事

業界の声

南アルプス特産品企業組合・はたるみ館
理事長 斉藤 きのの 氏

業界の現況は?

当組合の主な事業内容は、地域農産物の加工販売事業です。「地産地消」をテーマに、地元で採れた農産物の中から農協等の市場に出荷できないもの(いわゆる「二級品」)を集め、これら農産物を加工し、地域の特産品として販売しています。当組合では、農協等の市場に出すことができない農産物が多いことに着目し、これらを利用することとしました。その後、加工品開発と販売の事業化に本格的に取り組んだ結果、現在では多くの方々から当組合の商品をご購入して頂けるようになりました。

その他にも、組合施設内では、毎週土曜日に朝市を開催し、野菜や果物の他、組合で生産したジャムや製菓、味噌等の販売を行っています。また、地元小学校給食への食材の提供も行っており、南アルプス市にある小中学校には野菜や梅漬、米、大豆等を納入しています。

今後の展開は?

今後の展開としては、野菜作り勉強会や先進地視察等の各種研修事業を通して組合員の知識・技術の向上を図ると同時に、組合員の働く意欲の向上を図っていきたくです。また、新メニューを開発するための研究会や加工技術を向上させるための講習会を実施するなど、特産品の研究開発にも積極的に取り組んでいきたいです。

その他、組合設立以降、大きな組織体制の変更もなくきています。当組合の課題である組合員の高齢化問題に関しては、今後の組織運営を見据えながら、若手の登用や後継者の育成に力を入れていきたいと考えています。

また、強固な組織体制の整備を図っていき、今後も未永く活発な事業活動を行っていきたくです。



南アルプス特産品企業組合・はたるみ館

新たな10年に向けての ビジョン策定

ACTIVE KUMIAI

TOPICS 協同組合山梨県流通センター

協同組合山梨県流通センター(栗山直樹理事長 組合員62社)では、全国中央会からの助成を受けて平成22年7月より進めてきた「卸商業団地機能向上支援事業」が完了し、去る2月13日に組合員を対象に報告会を行った。山梨県流通センターは昭和48年に県内初の卸団地組合として設立され、本年には創立50周年を迎える。その節目にあたって、これまでその時代の経済環境を反映して何度か策定されてきた将来ビジョンを踏まえ、①長期ビジョンの見直し ②組合会館のリニューアル ③組合所有施設の有効活用 ④省エネシステム導入の可能性検討などについて専門家を招いて検討を行った。

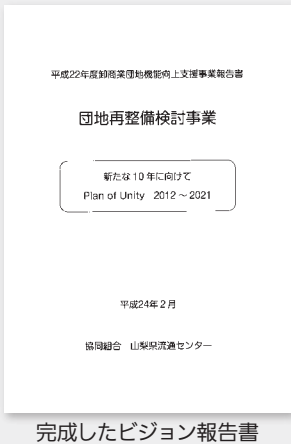


2月13日に開催された事業報告会

当事業の中込武文委員長(甲信食糧)代表取締役は「設立以来50年が経過し、卸売業が中心だった組合員の構成も変わり、共通のメリットを求めて組合事業を展開していくことが難しくなってきた。一方、組合員へのアンケート調査からは流通センターの商業環境の良さを感じている組合員企業が多いことも判った。」

「組合の新たな役割や機能を考えた場合、組合全体で大きなハード整備のような事業に取り組みるのではなく、『この指とまれ』方式により組合員有志がそれぞれ必要とする共同事業を利用していくという形になつていくのではないか。」

「新たな10年に向けて新たな組合のあり方の方向を探っていくスタートとした。」と語った。



完成したビジョン報告書

創立60周年記念式典・ 祝賀会開催

ACTIVE KUMIAI

TOPICS 社団法人 山梨県自動車整備振興会・山梨県自動車整備商工組合



(社)山梨県自動車整備振興会(荻原公明会長・共催山梨県自動車整備商工組合)は、平成23年12月をもって創立60周年を迎えたことから、1月28日(土)甲府富士屋ホテルにおいて、創立60周年記念式典及び祝賀会を開催した。当日は関東運輸局長や中央会会長をはじめとする来賓、会員並びに関係者約450人が出席した。式典では、60周年を迎えた振興会に対し、関東運輸局と山梨県から特別顕彰が贈られ、顧問・相談役、退任役員等に対する感謝状・記念品贈呈や40年を経過した事業所に対して永年認証事業所の表彰状が授与された。また記念事業として、子供110番のお店所在マップ、山梨みどり奨学金、山梨としむし基金、やまなし環境財団、東日本大震災への義援金がそれぞれ関係者に寄贈された。

振興会の会員は、設立当初16事業所であったが、現在では912事業所となっている。業界を取り巻く環境も人口減少、少子高齢化、保有台数の減少、軽自動車の増加や使用年数の長期化による自動車保有構成の変化、さらにはハイブリッドカーなど高度な電子制御を備えた自動車の普及への対応など自動車整備事業の見直しの転換期にあり、経営体質の改善など多くの課題解決のため、組合の新たな取り組みへの期待が高まっている。組合が中心となり健全な業界の発展を誓う記念行事となった。



「新たな10年に向けて新たな組合のあり方の方向を探っていくスタートとした。」と語った。

健康的な生活は、 まず食事から！

ACTIVE KUMIAI

TOPICS 一般社団法人 やまなし健康・栄養サポートセンター



一般社団法人やまなし健康・栄養サポートセンター(小淵正子理事長)は、企業や個人として活躍している管理栄養士8名により設立された新しい連携組織である。当法人は、山梨県民の健康的な生活に寄与するため、安全で安心な食と健康に関する環境及び文化の確立と維持を目指し、(1)高齢化対応、生活習慣病予防及び食育活動推進を目的とする料理教室、講習会の開催又は専門家等の派遣(2)企業、教育施設、保育施設、福祉施設、老人クラブ、子供クラブ、介護事業所、病院、クリニック及び飲食店等に対して行う健康食の提案及び事例紹介、(3)一般を対象として行う精神的又は心理的なものを含む健康に関する個別相談の実施などを中心に幅広い事業を展開している。

今回、事業の一環として、安全で安心な食と健康について広く一般市民に知ってもらう機会とするため、3月4日に開催された組合まつり2012に出展し、ヘルシーで栄養価を調整した「健康栄養バランス弁当」や産直有機農法にこだわった「りんごを丸ごと1個使った「りんごのケーキ」を販売した。また、「飾り巻き寿司」の実演コーナーを設置し、「モモの花寿司」、「お雛様寿司」2種類のデモンストレーションが延べ3回行われ、行き交う人々の目を惹きつけてくれた。これはまさに日本の米食文化の象徴ともいうべきもので是非広めて欲しいものである。併せて、来場者の健康面へアピールするために血糖値測定や血圧測定、体脂肪率測定、栄養相談コーナーを設け、多くの来場者で賑わった。

また、当法人の関連団体の一つとして太陽食品株式会社も同時出展し、基礎調味料を中心にトロミ剤、やわらか食などの加工食品並びに冷凍食品・珍味などの販売も行われた。



日頃の食生活の見直しが大事です。

一般社団法人やまなし健康・栄養サポートセンターでは、企業や教育施設だけでなく、一般からの健康・食に関する相談も受け付けている。お問い合わせは、055・227・2725又は070・5460・1642 小淵正子理事長まで

山梨県中小企業団体青年中央会

横内知事と若手企業家らが懇談会を実施

～県政ひざづめ談義～



青年中央会(山梨県正道会長)会員を対象とした山梨県主催による「県政ひざづめ談義」が3月15日に中央会研修室にて行われ、会員8青年部より12名が出席した。ひざづめ談義は、県民総参加の県政を推進するため、直接県民と知事が地域の現状や将来、県政全般の諸施策などについて普段着の対話を行うものであり、平成19年度に始まり今回でちょうど1000回目の開催となった。

今回は「中小企業の未来を拓く」というテーマが掲げられ、横内知事と活発な意見交換が行われた。主な意見交換の概要は次の通り。

- 特産品や観光、またその他製品の全国への販路開拓およびPRについて
- 新しい観光コースの開発について
- 高校や専門教育機関での人材養成カリキュラムについて
- 中部横断道やリニア開通に伴う山梨県の今後10～15年のビジョンについて
- クリーンエネルギーなど山梨発の新しい産業分野の創出および新エネルギーの方向性について
- 経営者も学ぶことのできる社会講座の展開について
- 山梨県の人口減少抑制、増加施策について
- ガソリンなどを含めたライフラインの緊急時の確保について
- 来県被災者を対象とした活動のための情報開示について
- 地域資源などを活用したブランドの開発にかかる業界のコンセンサスについて
- 山梨県および出先機関の発注業務の公平性についてなど。

参加者からは、企業及び業界の現状の取り組みや将来展望、課題などが発言され、それを受けて、知事からは山梨県としての現状や将来展望についての発言があった。

最後に、知事と出席者で記念の写真撮影を行い、散会した。今後このような有意義な機会がもたれることを望んでいる。



「地場産品販売促進事業」実施報告書

― 3 年間の取り組みを終えて ―



を集め講演会、交流会を開催した。

● 県産品販促事業

― 物産展・販売事業 ―
県内外のデパートやスーパー、東京都内の「富士の国やまなし館」を中心に物産展や販売会を開催し、一般消費者を対象に県産品の認知度向上に努めた。商品に対する消費者の反応についてはその都度フィードバックし売れる商品作りに役立ててもらった。

当初は、県内外のデパートやイベントにおいて、スタッフが生産者から販売委託を受け対面販売により県産品を販売した。販売は、主に販売担当4名が中心となり業務を行ったが、2年目以降は、自社商品に対する消費者の反応を直接知ってもらい商品の改良等に役立ててもらったため、可能な限り生産者が直接会場場で販売するよう努めた。中央会スタッフは、商品の展示法や販売について生産者のサポートを行った。

はじめに
本会では、平成21年6月より約3年間「ふるさと雇用再生特別基金」を利用した「地場産品販売促進事業」を山梨県より受託し、県産品の販促事業等を実施してきたが、本年3月をもって終了した。ここに3年間実施した事業の概要について報告する。

事業の目的

この事業では、中小零細企業が多い地場産品関連企業に代わって各種販売促進事業を中央会が雇用した6名のスタッフ(特産品市場開発チーム)により行った。県産品の販路拡大を図るとともに、本県の物産や観光の知名度、イメージの向上を図ることを目的とした。

実施事業の内容

● 県産品の掘り起こし及び情報収集
生産者など県産品を取り扱う事業所を訪問して、隠れた県産品の掘り起こしを図った。商品を生産する事業所や新しく掘り起こした商品の生産者を中心に商品情報を収集した。これらの情報は、商取引の拡大を図るためにバイヤー等へ必要に応じて提供することを目的に、データベース化した。併せて、情報交換や商品開発を目的に生産者等

― 展示会見本市への参加 ―
専門の展示会見本市にも参加した。「ギフトショー」には2回出展し、主に織物製品や和紙、印章などの工芸品を展示した。「アグリフッドエキスポ」には1回出展し、ワインやジャム、肉加工品などの加工食品を展示した。県産品を展示し来場するバイヤー等に紹介、引き合いを得て、商談から成約にいたった出展業者も多々あり、県産品の販路開拓に役立てることができた。

― 組合との連携事業 ―
商品の選択や販売にあたっては、できるだけ中央会傘下の組合と連携するとともに、事業によってはその効果を高めるため組合との共催による開催も行った。

主なものは、県菓子工業組合が山梨の新しい土産品として開発した「武田兵糧丸」の販促活動については、公募による試食会の開催やアンケート調査を企画実施した。また、「信玄公まつり」での商品の販売などに協力し知名度の向上に努めた。さらに、県絹織物工業組合「ネクタイ部会」とは共同して「富士の国やまなし館」や「イオン昭和店」においてネクタイの販売会を開催し、郡内地域織物の主力商品であるネクタイの消費拡大を図った。

― 取引先開拓営業 ―
新たな販売チャネル開拓のため、主に東京都内及び横浜市内のデパートやスーパーの催事、販売促進担当を訪問し、県産品の販路拡大のため、催事などへの参加を依頼した。併せて「物産ガイドブック」を配布し掲載企業との取引の促進を行った。

● 広告宣伝事業の概要

― イベントへの参加 ―
東京における「新酒ワインまつり」や「渋谷区民まつり」、県内で開催された「勝沼ぶどうまつり」や「ふるさと特産品フェア」などの各種イベントにも参加し、数多くの来場者に県産品の販売PRに努めた。

年目にはジュエリーや印伝、織物などの工芸品にワイン、日本酒などの酒類を含め84社・組合の商品を掲載した。また、ガイドブックの内容は、ホームページに掲載することで、県産品の情報を幅広く提供し、販路の拡大と知名度の向上に努めている。

また、海外(上海)販路開拓懇談会の開催に伴い「やまなし物産ガイド(中国語版)」を作成。上海の大規模店を中心に配布し、山梨県産品の知名度向上に努めた。

おわりに

スタッフにとつては、当初、慣れない仕事であるとともに、厳しい経済環境の中での船出であったため、必ずしも計画どおり実施できない面もあった。

しかし、回数を重ねることに生産者との結びつきが深まり、スタッフは事業実施の方法についても熟知することができた。スムーズな実施が可能となり、商品の販売促進に関する全般的な手法を身につけることができた。今後の仕事に活かすことができると思う。

もともと、ビジネスに直結する難しい事業ではあったが、3年間、特産品チーム6名が一丸となり積極的に県産品を内外において販売PRすることにより、多少とも県産品の認知度を高めることができたと思う。これも、ひとえに地場産品関連の組合や生産者の皆様のご協力の賜であると深く感謝申し上げます。3年間に渡り本当にありがとうございました。



中小企業の魅力発信による新卒者の就職支援を目指して

中央会では、就職を希望する大学、短大及び専修学校等の学生に対し新卒者の採用を検討している中小企業の魅力を発信するとともに学生と中小企業者の出会いの場を提供し、学生の企業選択の幅を広げることや中小企業の人材確保を支援するため「中小企業新卒者就職応援事業」を実施している。

本事業は、大学生の就職内定率が過去最低水準で推移するなど、深刻化する新卒者の就職難を解消するため、中央会が平成23年度より山梨県より事業を受託しており、事業に参加している中小企業者を対象に山梨県が開設した「新卒者就職応援企業ナビ」への登録、「中小企業ガイドブック」への掲載及び「合同就職説明会」の開催等を行っている。

① 新卒者就職応援企業ナビへの登録

山梨県が開設した「新卒者就職応援企業ナビ」は、勤務地域、職種、業種、学歴のほか、ワークライフバランスの推進など企業の持つ魅力で企業検索を行える機能を備えた企業情報サイトであり平成24年3月末現在で223社が登録している。

サイトの特徴として、スマートフォンが就職活動における必須ツールとなっていることから、スマートフォンから閲覧した際に、自動的に閲覧に適したサイズで表示されるよう、スマートフォンに最適化している。この機能は都道府県運営の企業情報サイトとしては全国初。

また、就職活動において、TwitterをはじめとするSNSの活用が進んでいることから、県内企業情報や就職イベント情報などサイトの更新情報をTwitterで発信している。

② 中小企業ガイドブック

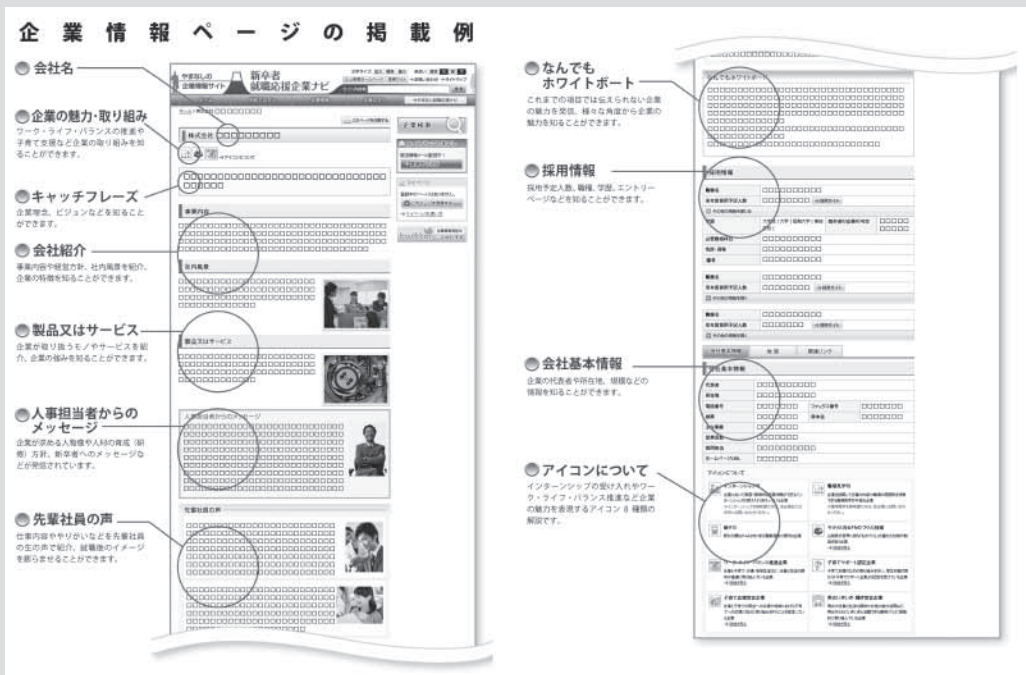
「新卒者就職応援企業ナビ」に登録した企業を掲載。県内外の大学・短大・専修学校等に配布すること目的に年3回発行。

③ 合同就職説明会

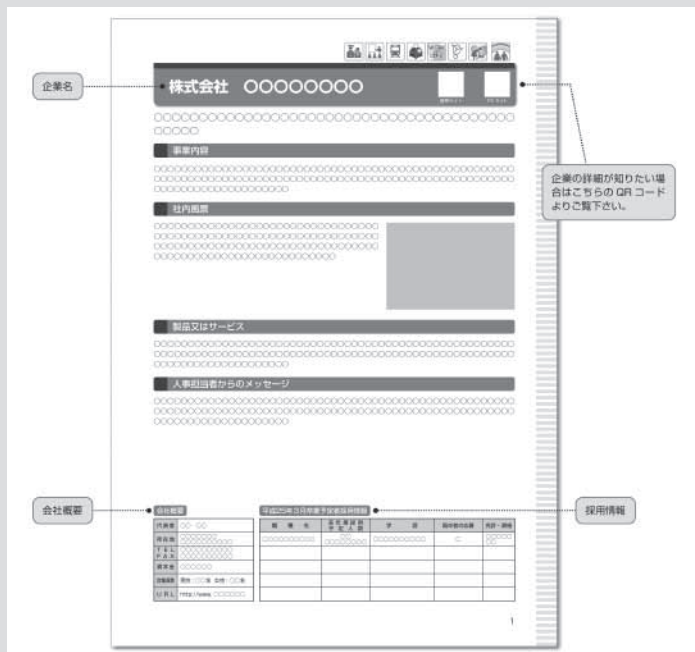
4月に新卒者の採用を予定している企業を対象に、年3回（6月、8月、10月）開催。



③合同就職説明会



①新卒者就職応援企業ナビ登録イメージ



②中小企業ガイドブック掲載イメージ

●やまなし販路開拓支援事業協同組合



当事業にて作成したコンテンツ「やまびーねっと」

やまなし販路開拓支援事業協同組合 ホームページ
<http://yamap-net.main.jp/>（やまびーねっと）

～平成23年度小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業～

ITを活用した共同宣伝と新たな市場開拓を目指して

やまなし販路開拓支援事業協同組合（藤原進理理事長は、本会の助成事業「平成23年度小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業」を実施した。当事業は、小企業者組合における組合員の経営基盤強化や生産性向上を目指した既存の共同事業の改善や新たな事業開発のためのフィージビリティ・スタディ（実現性調査）研究、さらにはフィージビリティ・スタディの結果を具体化するための事業に対して助成を行い、小企業者及び小企業者組合の活性化を支援するものである。当組合では、小企業者の多くが持つ「販路開拓」という課題について、組合を通じてその課題解決に取り組んできた。その一環として、当事業の実施を決定したものである。

当組合は、事業実施テーマを「ITを活用した共同宣伝、新たな市場の開拓の実現化について」とした。事業の実施内容としては、「ネット市場の現況についての研究」とその結果を受けて行う「マーケティング戦略の確立」。また、これらの研究成果を基に、インターネットを活用したコンテンツ「やまびーねっと」を試作し、当組合ホームページとして実際にインターネット上にアップした。

「やまびーねっと」の特徴は、検索する人に当サイトを見つけてもらう「工夫」をしている点である。通常、インターネットを使って情報を検索する人は、「目的」や「場所」で検索を行う。当組合はその点に着目し、ホームページをブログやツイッターと連動させ、数多くの「目的」や「場所」の情報を発信することとした。また、ブログやツイッターでは、閲覧者が良いと思った情報をまた別の人に情報発信をしてくれる。その仕組みを利用して、自然と広がる情報拡散の仕組みを構築している。

当組合は、今後も当事業で得た知識や情報を活用して、中小企業者等への販路開拓支援を実施していく予定である。

「2012国際協同組合年」について

2009年12月に国連総会において2012年を「国際協同組合年」とすることを決定し、各国政府、協同組合関係組織に対して、この国際年を契機に、協同組合の設立や発展を促進し、社会的・経済的開発への協同組合の貢献に関する認知度を高める取り組みを行うよう求めました。

これを受けて、全国農業協同組合中央会（JA全中）より全国中小企業団体中央会に対し、「国際協同組合年全国実行委員会」への参画の要請があり、実行委員会の目的に鑑み参画しております。

全国実行委員会の目的

この会は、2012年の国際協同組合年にあたり、協同組合の価値や協同組合が現代社会で果たしている役割等について広く国民に認知されるよう取り組みを行うとともに、協同組合運動を促進させる取り組みを行うことを目的とする。

平成24年度から 労災保険率、雇用保険料率が改定になります！

平成24年4月1日からの雇用保険料率は、以下のとおりです。

平成24年度の労働保険年度更新の際にはお間違えのないようお願いいたします。

平成24年度の労働保険年度更新時期は、6月1日～7月10日です。

①労災保険料率 山梨労働局のHPをご覧ください。

②雇用保険料率

平成24年度 雇用保険料率 (平成24年度概算 保険料の計算に使用) 事業の種類	保険料率	事業主負担率	被保険者負担率
一般の事業	13.5/1000	8.5/1000	5/1000
農林水産 清酒製造の事業	15.5/1000	9.5/1000	6/1000
建設の事業	16.5/1000	10.5/1000	6/1000

情報 **BOX**

●2012国際協同組合年記念企画

「協同組合地域貢献コンテスト」について

国際協同組合年全国実行委員会では、協同組合の社会的認知度を高めるための記念企画として「協同組合地域貢献コンテスト」を実施しています。

本コンテストは、協同組合の事業・活動の中で、特に地域貢献度が高いものを表彰し、全国に紹介していくこととしています。

応募に当たっては、組合からの自薦だけではなく、中央会から該当しそうな組合の推薦も考えられます。(内容については、下記をご覧ください。)

なお、応募締切期日は、平成24年4月30日(月)までとなっております。

地域貢献コンテストのご案内

2012国際協同組合年では、協同組合の社会的認知を高めていくことが重要になります。そこで、貴協同組合の事業・活動の中で、特に地域貢献度が高いと考えられる取り組みを自薦してください(他薦も可です)。

国際協同組合年全国実行委員会委員をうならせた取り組みを表彰します！

応募概要

協同組合原則の第7原則に「コミュニティへの関与」がうたわれていますが、貴協同組合の事業・活動の中で、特に地域貢献度が高いと考えられる取り組みを自薦してください(他薦も可です)。

審査で重視する視点

- ・地域コミュニティの発展・再生に資する活動で、取り組みの対象や効果が、組合員はもとより、広く地域住民・地域社会に及ぶ活動
- ・取り組みの目的・成果がより具体的である活動
- ・継続的に取り組まれている活動

応募期間

2012年1月13日(金)～2012年4月30日(月)

応募資格

原則として国内協同組合
(連合会、単位組合等は問いません)

応募方法

応募用紙にご記入の上、EメールまたはFAXでお送りください。

*応募用紙のダウンロード

http://www.iyc2012japan.coop/whatsnew/120120_01.doc

審査委員

国際協同組合年全国実行委員会委員 ほか

入選発表

2012年国際協同組合デー中央集会(2012年7月18日開催予定)で発表し、入選した取り組みをIYC全国実行委員会ホームページにて紹介させていただきます。

応募先

協同組合地域貢献コンテスト事務局
担当: 谷崎(全国漁業協同組合連合会 信用・組織指導部)
電話: 03-3294-9618 FAX: 03-3294-9603
E-mail: h-tanizaki@zengyoren.jf-net.ne.jp

退職者紹介

平成24年3月22日付

6次産業総合推進委託事業

プランナー 眞浦正徳
プランナー 鷹野啓司
プランナー 芦澤香苗

平成24年3月31日付

地場産品販売促進事業

事業責任者 伊藤達美
営業担当者 澤登武仁
販売員 松浦亨浩
販売員 河合克枝
販売員 水元恭史
販売員 桐山都由

雇用安定推進事業

雇用安定推進員 望月ゆかり

中小企業新卒人材採用支援事業

コーディネーター 堀内登喜夫
コーディネーター 中川貴之
嘱託職員 浅川かおり

富士・東部地域雇用安定事業

雇用安定強化員 羽田幸徳

最低賃金総合相談センター

コーディネーター 桜井隆男

企画総務部総務課

臨時職員 米山敦子

第57回 山梨県中央会通常総会 開催のお知らせ

当会通常総会を次の日程にて開催致します。

開催日時 平成24年5月31日(木) 14:00～

開催場所 アピオ甲府本館「吉兆の間」 昭和町西条

被表彰者の募集について

山梨県中央会では、長年にわたり組合、青年部、女性部活動に貢献した方を対象に表彰候補者を募集します。表彰式典は、通常総会開催日に行われます。選考基準については、4月中に発送予定です。

募集対象 組合功労者、青年部功労者、女性部功労者、優良専従職員

表彰式典 平成24年5月31日（木） アピオ甲府本館「吉兆の間」

●詳しくは、総務課までお問い合わせ下さい。
TEL055-237-3215

編集後記

4月から新年度がスタートする組合が多いと思います。今月号の2面に事業年度終了後の手続きについて掲載してありますので、そちらを参考に遅滞なく業務を進めていただき、何か質問等がございましたら中央会職員にお気軽にお尋ね下さい。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

東北へ。被災地へ。

2011年3月11日、日本中に大きな地震が走り、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震は、大津波を引き起こし、東北地方から関東地方の太平洋沿岸の広範囲にわたって甚大な被害をもたらした。福島では原子力発電所の事故による放射性汚染という深刻な事態にまで発展した。

各所で家屋の倒壊や液状化現象、地盤沈下などが相次ぎ、ライフラインも寸断。最大時で40万人といわれる避難者に対して生活に必要な物資は圧倒的に足りないという事態が起こりました。

地震の翌日3月12日、一刻も早く被災地に物資を届けよう、全国から緊急救援物資を積んだトラックが被災地に向かいました。

東北へ。被災地へ。食料を、水を、衣料品を。生活に必要なあらゆるものが全国から集積拠点に集められ、速やかに仕分けされて膨大な数の避難所へと運ばれていく。暮らしのライフラインの一つであるトラック運送にこそ、この災害時の緊急輸送は、困難はしていたものの、想像以上に大規模で、また困難なものでした。そして今、私たちトラックが運んでいるものは緊急救援物資から、復興のための物資へと変わってきています。

「私たちは確信を持っています。」「みんなが力を合わせれば、必ず困難を克服できる」ということを。」「私たちが一つ一つにすれば、必ず日本を再生できる」ということを。

トラックが運ぶ

復興と未来とぼくたちの夢

平成23年度環境標語最優秀作品

がんばろう日本!!



(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

マングローブ植林 100年宣言。



マングローブの植林活動は“地球の未来にかけた保険”です。この活動を大切に、末永く続けていきます。

2010：ベトナム ティエンラン

マングローブの森が失われ、台風や高波などの水害に悩まされていた、ベトナム・ティエンラン。「あのマングローブの森を取り戻そう。」1999年、ここから私たちの植林活動が始まりました。そして今、私たちがベトナムで最初に植えた小さな苗は、ここまで大きな森になりました。私たちはマングローブの植林活動をアジア・南太平洋の国々で進めており、これからも一歩ずつ着実に取り組んでいきます。

東京海上日動火災保険株式会社 山梨支店
山梨県甲府市中央1-12-28 甲府東京海上日動ビル 〒400-0032
TEL:055-237-7680 http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

中小企業者のための共済事業 共済にかけて安心 伸びゆく企業

普通・総合・新総合火災共済

皆様の財産を火災や自然災害等からお守りする共済制度です。

生命傷害共済

病気・けが等により死亡や、けがによる入・通院費用等を補償する共済制度です。

休業補償見舞金共済

災害等によって休業した場合にその損失を補償する共済制度です。

医療総合保障共済

医療(病気・けが)共済とがん共済をセットした共済制度です。

当組合は、中小企業とその経営者・従業員の方々に対象とした共済事業を行っております。

3つの特色で皆様の企業をパワフルにバックアップします。

●安い掛金 ●迅速な支払 ●剰余金は契約者に還元

山梨県火災共済協同組合 山梨県中小企業共済協同組合

甲府市中央1-12-37 IRIXビル3階
TEL(055)235-7564 FAX(055)235-7538

明日を、かなえる。

みんなのために、ひとりのために

しんきん
バンク

Face to Face

山梨信用金庫 (055-235-0311)

甲府信用金庫 (055-222-0231)

しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、平日・土曜のご利用手数料が無料で、ご利用できます。(一部対象外のATMがございます。)